

寒月にうちわ太鼓を響かせて修行の僧ら信号を待つ

向丘 三宅 あき子

松風を聴きし茶室はあの辺り車疎まばらなパーキングあり

向丘 高野 伸子

「夕暮れの時は良い時」口ずさみ一人暮しの夕餉の仕度す

千石 小出 風沙子

朽くちかけし門先に咲く半夏生水遣やる老婦の在りし日思う

千駄木 伊藤 惠津子

ツタンカーメンのえんどう豆は強風に倒されしまま赤花咲かす

小石川 白鳥 茂子

言の葉を飲み込みかねて歩む時友よりのメール心に届く

水道 菅井 茂子

満開も散る桜も良し流れ行く花筏はないかだも良しかの地にも咲く

本駒込 鈴木 たまき

ふくしまの人の心の価とはいくらとはかればいいのでしうか

水道 高木 マリ

地震ないの地に少年の涙溢れつつ卒業証書両手に掲ぐ

白山 能州 幸子

春よとて瓦礫がれきのかたえに咲く水仙皇后様に捧げし人あり

西片 松林 利枝

起上りこぼし小法師なる國さくら咲く

白山 釵持 四郎

炊き出しの仕度しづかに花の下

向丘 三宅 あき子

青蛙あの子また鬼かくれんぼ

音羽 森田 幸子

根津神社若葉の海に沈みけり

水道 高木 敏之

桐咲いて胸裡きょうりに風のそよぎけり

西片 川上 澤子

男もす筍パスタ夕炊ぎ

西片 白井 良治

ひよどりの狼藉ろうぜきもよし青木の実

向丘 高野 伸子

チアガールぴんぴん跳ねて山笑ふ

小日向 小川 浩男

そら豆はアンデスからも凍り来る

本駒込 吉田 和子

かぜふいてさくらのたびがはじまるよ

本駒込 谷 有珠